

## 第1回養老町立小学校再編準備専門部会全体会（総務部会）協議事項報告

### 次第6 各部会での意見交換（各部会の検討項目と検討スケジュールの確認）

【進行：河村 佳隆 部会長】

#### ◆検討項目とスケジュールについて

##### ○統合校について

- ・敷地面積、教室数、築年数、耐震性など考慮すべき点は多々ある。
- ・スクールバス等を停めておく場所も必要であることを考えると、学校規模は重要である。
- ・土砂流など災害が起りにくい場所というのにも検討する必要がある。

##### ○スケジュールについて

- ・跡地利用（方向性）、公民館の役割は、簡単に決められる問題ではない。
- ・年に数回の部会では足りない。議論を深めるためにできるだけ話し合いを重ねたい。  
➡来年度すぐに総務部会を開催し、地域の実情を踏まえながら協議を進めていく。

##### ○跡地の方向性について その他

- ・体育館については、避難所として残す必要がある。
- ・そもそも地域をどうするかということを実に考えていかないと跡地の議論は前に進められないのではないか、公民館の利用についても同様である。
- ・期限を決めて議論をしていくことも必要であるが、拙速に進めた結果、子どもが犠牲になるということがあってはいけない。順序だてて丁寧に進めていくべき。
- ・まちづくり等に関わる問題で、町の考え方というのも重要となってくる。
- ・地域自治町民会議の方向性がはっきりしないと決められない。

#### ◆次回までに

総務部会は、特に地域との合意形成が重要となる。それぞれの立場で、どのような解決方法があるか、よいアイデアはないかをよく考え、議論できるようにする。